



学校教育課長  
まさおか たかあき  
政岡 孝明

ワンポイント  
紹介

90  
きゅうじゅう

信頼される学校づくりを目指しています

◎ 学校教育課 [教育委員会庁舎 2階]

学校教育課は、学校教育係と教職員係の2つの係で構成されています。

学校教育係は、小学校17校と中学校9校、合わせて26校が作成する教育課程の管理や児童生徒の健康診断・衛生管理、就学・学齢簿の管理などの事務を担当しています。また、市内スクールバス経路の決定・毎日の運行管理、就学援助申請や教育に関する相談の受付など、子どもたちが安心して学校生活を送るための業務を行っています。

教職員係は、約500人の市内小中学校教職員の人事管理や健康診断などの健康管理業務、サービスの指導、各種教員研修、英語授業で教員の助手を務める外国人英語指導助手の招致などの事務を担当しています。そのほか、児童生徒数の増減に応じて学級数や教職員数を決定する学級編成業務なども行っています。

これからも学校、地域、家庭と協力して、信頼される学校づくりに努めていきます。

【お問い合わせは】

教職員係

☎(24)0842

学校教育係

☎(24)0839

『声のラン』～声の「花」を咲かせましょう！

声②

市内で出産できる病院に、市民病院があまりませんが、対応できる人数に限りがあると聞いています。千歳には子どもを産みたいと考えている方がたくさんいると思います。市内で安心して子どもを産むことはできるのでしょうか？

答お合え②

市内で入院・出産ができる産婦人科のある病院は、平成20年から市民病院1か所に限られていました。このような状況の中、4月に民間の産婦人科医院が開業し、市内で子どもを出産できる環境が改善されました。市民病院では1人の産婦人科常勤医師が年間約400件の出産を診ています。この件数は一般的な取り扱い数の約2倍の件数です。現在の体制では

健康推進課健康母子係  
☎(24)0771

市の組織には、90種類の課(セクション)があります。(平成22年4月1日現在、派遣職員の所属を除く)皆さんは、市役所がどのような「しごと」をしているのかご存じですか？

市内で子どもを産むことはできますか？

《20歳代女性》

すべての出産を市民病院で対応することは難しいと考えています。

新しい産婦人科医院の開業には、市が開業経費の一部を助成しています。

この病院の開業により、市内で対応できる出生件数が年間約300件増えます。

今後は、2つの病院が連携して出産に対応する体制をつくり、これまで以上に安心して子どもを産むことができる環境づくりを進めます。

印鑑登録証明は代理人でも取れますか？



すでに印鑑登録をしているときは、印鑑登録証のカードを持参した代理人が印鑑登録証明を取ることができます。委任状は必要ありません。

印鑑登録をしていないときは、登録が必要です。代理人が登録をするときは、登録者本人が記入した代理人選任届が必要です。登録者の照会を行うため、登録に3～4日間かかります。なお、代理人選任届は市ホームページから入手できます。

【詳細】市民課市民係 ☎(24)0264

【ワンポイントメモ】

平均年齢が道内一若いまちである千歳の年間出生数は約1000件です。すべての出産を市内の病院で対応することはできませんが、市は、医療機関の紹介など、出産に関わる相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

案内

「いまさら、なかなか聞けないわ」ということはありませんか？小さなことでも、正しく理解していただくために、「イマハナ」コーナーでは、皆さんのささやかな疑問にお答えします。